

栃木県鹿沼市

基本情報

- 気候：夏暑く、冬乾燥した内陸型気候
- 土質：埴壤土
- 従事人数：構成員19名（内オペレータ6名）
- 飼料用米の作付開始：H20年産

経営方針（重視・優先していること、こだわり等）

- コスト削減による飼料用米の安定生産と収益確保（引き算の経営）
- 多収性品種導入による生産性の向上
- 鉄コーティング湛水直播栽培による省力化・作業の分散化
- 品種特性にあった肥培管理による資材費低減

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- 肥料
（肥効調節型肥料の活用）
播種同時施肥基肥一発肥料による作業の軽労化収量の安定化
- 農薬
（播種同時除草剤の活用）
播種同時除草剤散布による作業体系の効率化
- 農業機械
（鉄コーティング湛水直播の導入）
農閑期のコーティング作業による作業分散
育苗作業労力の大幅削減
播種作業の労力軽減

導入効果

- 労働時間
（移植栽培との比較）
慣行比▲約1割
（年間）
慣行比▲約4割
（春作業のみ）
- Kg当り生産費
62円（直播・肥料・品種導入）
直播慣行比▲26円

支援体制

- 農業振興事務所（普及組織）や農機メーカー等の連携による実証ほ導入による効果検証
- 鹿沼市飼料用米利用協議会による低コスト省力技術の導入、地域内利用・流通体制の支援

課題・今後の目標

- 直播栽培に適した多収性品種の特性把握（発芽率や播種精度）
- 直播栽培における、より省力的で低コストな除草体系の確立

品目	作付面積	平均区画
主食用米（移植）	3ha	30a
主食用米（直播）	2ha	50a
飼料用米（移植）	7ha	30a
飼料用米（直播）	23ha	50a



直播作業

多収性品種収穫